

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	多様な主体による広域的な手賀沼の浄化・再生への取り組み	施策コード	11101	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	手賀沼の浄化・再生			関係課		
	(3) 節の目的	手賀沼への負荷を取り除くとともに、新たな負荷を与えない取り組みをすすめ、きれいな水と豊かな生態系をよみがえらせます。そのため、市民・事業者・市の力を結集するとともに、国・県・流域市町との協力体制を強化します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	手賀沼の浄化・再生を図り、かつての豊かな生態系の復活につなげるため、国や県が行う北千葉導水事業、植生帯整備などの浄化事業を促進するとともに、水質汚濁メカニズムの解明などのさらなる浄化対策の取り組みや、植生分布の変化が懸念されるハス群落の拡大防止と適正な管理を県に働きかけます。また、市民による手賀沼湖畔や沼内の清掃などの浄化活動や、水生植物の再生を行う市民公益活動を支援していくとともに、手賀沼水環境保全協議会による初期雨水浄化対策などの水質浄化事業を推進します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	国、県、自治体、市民の多様な主体				
		どういう状態に	浄化活動が展開されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・手賀沼の浄化・再生には、国、千葉県、流域市や市民団体など多様な主体による取り組みが必要です。このため、千葉県、流域市や市民団体などで構成する「手賀沼水環境保全協議会」を軸に、広域的な視点から事業に取り組んでいきます。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 第7期手賀沼に係る湖沼水質保全計画の達成率	手賀沼水環境保全協議会は、千葉県、流域市、流域の市民団体、事業者などで構成され、多様な主体による広域的な取り組みがなされているため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	90	0	0	0
		実績値		47			
		達成率		52.22			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	9,954	9,905	10,009	0	
		人件費	19,314	18,705	18,705	0	
		合計	29,268	28,610	28,714	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	9,140				
		人件費	19,314				
合計		28,454					

施策を構成する事務事業

事務事業名 手賀沼情報の提供					課 名 手賀沼課				
指 標 手賀沼情報の更新回数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	16	目標値	16	単 位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	16	達成率	100.00			予算額	489	957	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	399	957
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
現状どおり推進									
事務事業名 手賀沼船上学習の実施					課 名 手賀沼課				
指 標 参加者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	502	目標値	450	単 位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	317	達成率	70.44			予算額	460	2,175	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	438	2,175
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
現状どおり推進									
事務事業名 クリーン手賀沼推進協議会の運営					課 名 手賀沼課				
指 標 活動事業数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	6	目標値	6	単 位	本	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	6	達成率	100.00			予算額	700	7,656	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	700	7,656
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
現状どおり推進									
事務事業名 手賀沼ふれあい清掃					課 名 手賀沼課				
指 標 参加者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	371	目標値	450	単 位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	1,914	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	0	1,914
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
現状どおり推進									
事務事業名 手賀沼流域フォーラムの開催					課 名 手賀沼課				
指 標 イベントへの参加者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし				
現況値	72	目標値	100	単 位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	53	達成率	53.00			予算額	0	2,262	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	0	2,262
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
現状どおり推進									
事務事業名 手賀沼水環境保全協議会(手水協)事業の推進					課 名 手賀沼課				
指 標 手賀沼中央(環境基準点)のCOD値					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	8.9	目標値	7.7	単 位	mg/L	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	10	達成率	77.00			予算額	8,305	4,350	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	7,603	4,350
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
現状どおり推進									

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
手賀沼の浄化・再生に向けて、広域的な事業の展開は必要不可欠であり、引き続き国・県・流域市との連携を強化していく。近年、水質とともにナガエツルノゲイトウなどの外来性の水生植物が大量に繁茂しており、生態系の保全に向けた取り組みも重要となっている。	手賀沼の浄化・再生を効率的に進めるためにも、広域的な連携による事業展開が必要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
手賀沼の浄化・再生に向けて、広域的な事業の展開は必要不可欠であり、引き続き連携を強化していく必要がある。手賀沼水環境保全協議会を軸として、県が策定した湖沼水質保全計画の事業を進めていく必要がある。 また、繁殖域を拡大しているナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ等の特定外来生物の防除対策については、令和元年度に県が策定した駆除計画に基づき令和2年度、試験駆除を実施したあと、本格駆除に着手している。令和3年度以降も大規模な本格駆除が実施されることとなっており、県・流域市・市民団体と連携を図り、対策を進める必要がある。	手賀沼の浄化・再生を効果的に進めるためにも、広域的な連携による事業展開が必要である。
改善検討	○要 ●不要
→	施策展開の改善点と展開方向



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	手賀沼に流れ込む汚濁物質の削減	施策コード	11102	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	手賀沼の浄化・再生			関係課	商業観光課 クリーンセンター
	(3) 節の目的	手賀沼への負荷を取り除くとともに、新たな負荷を与えない取り組みをすすめ、きれいな水と豊かな生態系をよみがえらせます。そのため、市民・事業者・市の力を結集するとともに、国・県・流域市町との協力体制を強化します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	手賀沼の水質を改善するため、下水道の整備や早期接続の促進、高度処理型合併処理浄化槽の設置補助など、生活排水に対して適正な処理を行うための取り組みを推進します。また、降雨に伴い道路や市街地から流入する汚濁負荷の削減を図るため、国に対し負荷対策に関する調査研究の推進と効果的な対策の促進を働きかけていくとともに、市街地の路面や道路側溝の清掃、環境保全型農業の推進などをより積極的に進めていきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	手賀沼に流入する生活系COD排出汚濁負荷量			
どういう状態に		削減されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・手賀沼に流入する汚濁物質は削減傾向にあるものの、まだまだ高い値となっています。このため、国・千葉県や流域市などで計画している事業を着実に進めていきます。 ・生活系の負荷は減少しているものの、自然系の負荷の削減が進んでいません。肥料を削減する環境保全型農業や透水性舗装の普及などが課題となります。 					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 手賀沼のCOD年平均値の目標達成率(5.0mg/L)	水の汚れを示す直接的な指標であるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	70	70	70	70
		実績値		50			
		達成率		71.43			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	16,926	17,742	17,642	0
		人件費	6,699	5,742	5,742	0
		合計	23,625	23,484	23,384	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	12,897			
		人件費	6,699			
合計		19,596				

施策を構成する事務事業

事務事業名	手賀沼及び主要排水路の底質と水質監視				課名	手賀沼課		
指標	異常水質（底質）を監視する回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	7	目標値	7	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	7	達成率	100.00			予算額	1,760	435
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,760	435

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進

事務事業名	根戸幹線排水路移設式沈殿槽の管理				課名	手賀沼課		
指標	1年あたりの維持管理の回数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	12	目標値	12	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	12	達成率	100.00			予算額	0	609
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	609

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進。

事務事業名	高度処理型合併浄化槽設置整備補助事業				課名	クリーンセンター		
指標	設置補助基数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	25	目標値	36	単位	基	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	21	達成率	58.33			予算額	13,903	4,350
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,113	4,350

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道未整備区域において、高度処理型合併処理浄化槽の設置は、河川や湖沼の水質汚濁防止につながり、補助金の交付は市民の負担軽減となる。

事務事業名	石けん利用の推進				課名	商業観光課		
指標	イベントや講習会に参加した人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2,177	目標値	2,500	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1,416	達成率	56.64			予算額	1,263	1,305
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,024	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

コロナ禍での啓発手法について、検討する。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼の浄化のため千葉県が策定した湖沼保全計画に位置付けられている中心的な施策であり、引き続き関係機関と連携を図り、着実に事業を進める必要がある。	手賀沼の水質を改善するために欠かすことのできない施策であり、引き続き関係機関との連携により着実に関連する事業を進める必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼に流入する汚濁負荷量の削減に向けて、千葉県が策定した第7期湖沼水質保全計画に位置付けられている事業を着実に進める必要がある。	手賀沼の水質を改善するために欠かすことのできない施策であり、引き続き関係機関との連携により、施策に関連した事業を進める必要がある。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
削減が進まない面源系(市街地、農地、自然系)の汚濁負荷の削減を図る必要があること、また、内部生産による汚濁の原因解明の研究を進める必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	手賀沼とその周辺の自然の一体的保全	施策コード	11201	施策主管部課	都市部公園緑地課	
	(2) 上位の政策（基本計画の節）	手賀沼の魅力化			関係課		
	(3) 節の目的	手賀沼の持つ魅力を高め、誰もが気軽に訪れ、親しみ、憩い、交流する空間として活用します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	手賀沼の魅力を高め、良好な手賀沼の自然環境を維持するため、手賀沼沿いの斜面林や水辺などの周辺の自然環境と水田・畑などの周辺の農地が一体となった手賀沼本来の豊かな自然環境を保全していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	手賀沼とその周辺の自然環境				
どういう状態に		保全されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	・自然環境の保全・再生には、地権者・農業者などの理解が不可欠です。また、我孫子の自然のほとんどが、人の手が加わってできた二次的自然であることから、その保全・再生には多くのマンパワーも必要です。このため、地権者への戸別訪問などを通して自然環境の保全・再生への理解を深めるとともに、市民や市民団体との連携をはじめ、行政側でも関係各課の横断的な連携を進めていきます。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 手賀沼沿い斜面林保全条例による指定・取得面積	手賀沼周辺の自然環境を構成するものであり、かつ、直接的な指標であるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	ha	6.5	6.7	7	7
		実績値		5.5			
		達成率		84.62			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算（千円）	事業費	3,641	3,641	3,641	0
		人件費	1,740	1,740	1,740	0
		合計	5,381	5,381	5,381	0
	(10) 実績値（千円）	事業費	3,549			
		人件費	1,740			
合計		5,289				

施策を構成する事務事業

事務事業名					手賀沼沿い斜面林維持管理		課名		公園緑地課	
指標					指定及び取得した斜面林面積		政策・経常		<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値		5.5		目標値		6.5		事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値		5.5		達成率		84.62		予算額		3,641
事務事業の施策への貢献度		○高い ●普通 ○低い		評価		現状		実績値		3,549
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）										
我孫子市の特徴的な緑地として、良好な環境を維持するため、今後も推進していく必要がある。										

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①手賀沼周辺の自然環境保全に役立っている。 ②環境保全は、市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④事業の実施は、施策推進に有効である。 ⑤市民参加の事業である。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標設定に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤協働で推進している。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼周辺の自然環境保全のため斜面林所有者の理解・協力の下事業を進めており、自然に親しめる手賀沼沿い斜面林を確保している。事業の目的に効果的な施策となっている。	①～④本施策は、手賀沼の持つ魅力を高め、誰もが気軽に訪れ、親しみ、憩い、交流する空間として活用するという節の目的達成に効果的な手段となっており、手賀沼とその周辺の自然環境の保全に効果的な役割を果たしている。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤ボランティア等と協働で実施した。 ⑥⑦財源配分、人員配置ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	手賀沼の魅力を高める環境整備	施策コード	11202	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	手賀沼の魅力化			関係課	公園緑地課 文化・スポーツ課	
	(3) 節の目的	手賀沼の持つ魅力を高め、誰もが気軽に訪れ、親しみ、憩い、交流する空間として活用します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	手賀沼に多くの人に訪れてもらうため、周辺の歩道や公共サインなどを整備するとともに、交通アクセスの向上を図ります。また、手賀沼に親しめる交流拠点としての活用が期待される手賀沼親水広場、鳥の博物館、高野山桃山公園、アビスタ、手賀沼公園などの公共施設や手賀沼周辺の歴史的・文化的遺産をネットワーク化するとともに、それぞれの施設利用者数の増加など相乗効果を生み出す取り組みを進めます。さらに、手賀川との自然環境の連続性をいかした広域的な取り組みを進め、魅力的な交流空間をつくります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	手賀沼に親しめる交流拠点など				
どういう状態に		魅力的な交流空間になっている					
(6) 施策実施上の課題と対応	・手賀沼に多くの人を誘引するためには、沼までの交通アクセスや点在する歴史・文化遺産を線で結び面にするなどのネットワーク化を進める必要があります。このため、路線バス、レンタサイクルや水上バスなどの充実を図っていきます。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 手賀沼沿いの交流空間となる施設の入場者数	手賀沼周辺に訪れた人の数を把握することができるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	720,000	720,000	720,000	720,000
		実績値		741,870			
		達成率		103.04			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	74,879	81,578	81,498	0
		人件費	12,876	10,788	6,873	0
		合計	87,755	92,366	88,371	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	73,024			
		人件費	12,876			
合計		85,900				

施策を構成する事務事業

事務事業名	親水広場の運営				課名	手賀沼課		
指標	入館者数(4~3月)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	466,705	目標値	470,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	482,738	達成率	102.71			予算額	66,652	5,220
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	65,429	5,220

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

現状どおり推進

事務事業名	手賀沼遊歩道の再整備				課名	公園緑地課		
指標	工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,111	870
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,001	870

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き、安全で安心して手賀沼遊歩道が利用できるように整備していく。

事務事業名	さくらプロジェクト				課名	公園緑地課		
指標	灯具の基数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	30	目標値	30	単位	基	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	30	達成率	100.00			予算額	861	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	737	2,610

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

現状通り推進していく必要がある。

事務事業名	ふれあいキャンプ場管理運営				課名	文化・スポーツ課		
指標	キャンプ場の利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3,386	目標値	8,500	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	6,255	1,218
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	5,857	1,218

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業の実施にあたって、予約方法や使用料の支払い方法など課題はあるが、手賀沼に親しめる交流拠点という施策の実現に向けて有効な事業であるため、課題解決に向けた検討を実施しながら、引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼遊歩道を軸に、手賀沼公園から親水広場のある高野山新田地区を中心に施設整備を進めることで、手賀沼に訪れる人を増やしていくことは重要な施策である。	手賀沼での水質改善を進め、交流人口の拡大、賑わいづくりに欠かせない施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
水に親しむ施設の活用、プラネタリウムの活用、情報の発信、環境学習事業、手賀沼にかかる展示を行う中で、水環境の保全啓発に取り組んでいる。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、水の広場やじゃぶじゃぶ池の利用が中止となったが、プラネタリウムは定員を25人に減らして上映を行った。今後も感染対策を徹底して施設運営を行っていく。	手賀沼親水広場を含め、手賀沼周辺の魅力を高める環境整備を進め、新たな賑わいづくりを進めていく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	手賀沼の魅力をいかしたソフト事業の展開	施策コード	11203	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	手賀沼の魅力化			関係課	鳥の博物館
	(3) 節の目的	手賀沼の持つ魅力を高め、誰もが気軽に訪れ、親しみ、憩い、交流する空間として活用します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	多くの人が手賀沼の魅力に気づき、その価値を認識してもらえるように、ジャパンバードフェスティバルやEnjoy手賀沼!、手賀沼花火大会などの手賀沼にかかわるイベントや手賀沼周辺の自然観察会、農業体験などを引き続き実施します。また、広報や市ウェブサイト、SNS、パンフレットなどの活用やパブリシティ活動の強化により、市内外へ広く情報発信し、手賀沼の魅力にふれあう機会を充実します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何(誰)を対象に	市内外の人々			
どういう状態に		手賀沼の魅力にふれあう機会が充実している				
(6) 施策実施上の課題と対応	・手賀沼やその周辺の自然環境も魅力の一つですが、さらに、魅力を高めていくためには、沼を活用したソフト事業を展開していくことが必要です。このため、様々なイベントや環境学習などを実施し、手賀沼を魅力ある空間としていきます。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① ジャパンバードフェスティバルの参加者数	手賀沼の魅力度を測るものさしとなるため					
	② ジャパンバードフェスティバルの出展件数	手賀沼の魅力度を測るものさしとなるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値	件	190	190	190	190
		実績値		0			
		達成率		0.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算(千円)	事業費	11,770	16,274	16,374	0
		人件費	18,879	23,490	23,490	0
		合計	30,649	39,764	39,864	0
	(10) 実績値(千円)	事業費	10,953			
		人件費	18,879			
合計		29,832				

施策を構成する事務事業

事務事業名	エンジョイ手賀沼				課名	手賀沼課	
指標	エンジョイ手賀沼への参加者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	13,000	目標値	15,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進

事務事業名	ジャパンバードフェスティバルの開催				課名	手賀沼課	
指標	来場者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	40,000	目標値	40,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	421
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	405

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進

事務事業名	てがたん				課名	鳥の博物館	
指標	平均事業参加人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	24	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	120
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	35

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の環境学習に良い影響を与えているため、今後も引き続き実施していくことが望ましい。

事務事業名	あびこ自然観察隊				課名	鳥の博物館	
指標	平均事業参加人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	24	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	71
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	10

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民への環境保全のための普及啓発に一定の効果をもたらしており、今後も引き続き推進していくことが望ましい。

事務事業名	ジャパンバードフェスティバル				課名	鳥の博物館	
指標	参加団体数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	190	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	300
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	32

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和2年度にふるさとイベント大賞を受賞し、全国に事業を紹介することができたことから、イベントを通して我孫子市の自然や手賀沼などの魅力を多くの人に知ってもらえることができる。

事務事業名	室内啓発イベント				課名	鳥の博物館	
指標	事業参加人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1,209	目標値	1,100	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1,209	達成率	109.91			予算額	2,920
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,700

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

多くの方に鳥や科学に興味を持っていただくための活動であり、優先度が高い。

事務事業名	ミュージアムショップの充実				課名	鳥の博物館	
指標	売上高				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	2,793	目標値	3,960	単位	円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	2,793	達成率	70.53			予算額	7,938
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,771

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ミュージアムショップは、来館者が記念としてグッズを購入する楽しみがあり、また、当博物館の魅力アップにつながる。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼の魅力を高めていくためにも、手賀沼を活用した様々なイベントや事業を進める必要がある。	手賀沼を魅力ある交流空間とするために、欠かすことができない施策であり、様々な事業を確実に進める必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
ジャパンバードフェスティバルをはじめ、様々な企画の充実を図ってきた。市内外の交流人口拡大のために重要な施策である。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となった。	イベントや企画を充実させ、交流人口の拡大を図る必要がある。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
→	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	自然環境を保全・活用する事業の推進	施策コード	11301	施策主管部課	都市部 公園緑地課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	自然の一体的保全・活用			関係課	手賀沼課 治水課	
	(3) 節の目的	生物の生息環境としても重要な水辺・農地・斜面林・谷津を、貴重な財産として一体的に保全・活用します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携により谷津ミュージアムや古利根沼周辺の保全などの核となる事業を推進します。また、くらしの中で自然が感じられるよう、「手賀沼沿い斜面林保全条例」と「緑地等保全及び緑地の推進に関する条例」に基づく指定やその維持管理に対する助成などにより、緑地や斜面林、社寺林、屋敷林などの身近な緑の保全を進めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	豊かな自然環境				
どういう状態に		保全・活用する事業が推進されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	市民との連携						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 緑の確保量	都市公園、指定緑地、農用地区域、自然公園特別区域などの面積					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	ha	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績値		1,566			
		達成率		97.88			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	35,813	27,745	24,745	0	
		人件費	22,272	28,101	28,101	0	
		合計	58,085	55,846	52,846	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	34,566				
		人件費	22,272				
合計		56,838					

施策を構成する事務事業

事務事業名	環境学習の推進				課名	手賀沼課	
指標	参加人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	305	目標値	350		単位	人	事業費(千円)
実績値	145	達成率	41.43				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	93
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状どおり推進

事務事業名	古利根沼水質汚濁防止				課名	手賀沼課	
指標	古利根沼のCOD値(年平均値)				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	7.8	目標値	9		単位	mg/l	事業費(千円)
実績値	11	達成率	81.82				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	11,600
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状どおり推進

事務事業名	専門家会議の開催				課名	手賀沼課	
指標	谷津ミュージアム全体のニホンアカガエルの卵塊数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	204	目標値	210		単位	卵塊	事業費(千円)
実績値	232	達成率	110.48				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

谷津ミュージアム事業を推進していくためには、今後も引き続き、各分野の専門家の意見を伺いながら実施していく必要がある。

事務事業名	自然環境の保全再生に向けた維持管理事業				課名	手賀沼課	
指標	維持管理作業回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	72	目標値	73		単位	回	事業費(千円)
実績値	73	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,723
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

我孫子市に残る貴重な自然、谷津ミュージアムを市民に広く知っていただくため、引き続き、啓発活動を実施する。

事務事業名	谷津ミュージアムの会の運営				課名	手賀沼課	
指標	活動への延べ参加者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	856	目標値	600		単位	人	事業費(千円)
実績値	813	達成率	135.50				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	409
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

我孫子市に残る貴重な自然の谷津を保全していくため、今後も引き続き事業を継続していく必要がある。

事務事業名	谷津田の保全・再生事業				課名	手賀沼課	
指標	補助金交付水田面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	82,901	目標値	85,000		単位	㎡	事業費(千円)
実績値	82,966	達成率	97.61				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,955
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

我孫子市に残る貴重な自然において、耕作放棄地を増やさないことが重要となる。生物多様性や自然環境維持のためには、今後も事業を継続していく必要がある。

事務事業名	谷津の自然環境保全に向けた用地交渉及び協定締結業務				課名	手賀沼課	
指標	使用貸借契約、協定締結、保存緑地指定の調整・交渉回数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	10	目標値	10		単位	回	事業費(千円)
実績値	10	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

谷津ミュージアム内の重要な場所は市所有地及び市借用地となっている。今後も継続して、最大限に活用していく必要がある。

事務事業名	河川愛護事業(利根川河川清掃)				課名	治水課	
指標	河川敷清掃参加人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100		単位	人	事業費(千円)
実績値	0	達成率	0.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

河川愛護の一環として、市民と協働で河川清掃を実施することで、利根川河川敷の美化・自然環境の保護に貢献できることから、事業の優先度は高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名	古利根沼周辺の保全と整備				課名	公園緑地課		
指標	保全活用面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	19.3	目標値	20	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	19.3	達成率	96.50			予算額	878	1,479
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	834	1,479

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

緑と水辺が一体となった我孫子市の自然環境の中でも特に貴重な地域であり、保全・活用等、事業の必要性が高い。

事務事業名	緑の基金				課名	公園緑地課		
指標	基金目標額				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	90,500	目標値	72,353	単位	千円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	83,500	達成率	115.41			予算額	900	1,305
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	900	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

基金の存在をより広く周知し、今後も多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう展開していく。

事務事業名	保存緑地・保存樹木				課名	公園緑地課		
指標	保存緑地指定面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	225,963	目標値	250,000	単位	㎡	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	222,597	達成率	89.04			予算額	6,968	2,175
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	6,835	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

良好な自然環境を有する緑地や樹木を保存することで市民が安らぎを感じられる環境を目指していく必要があるため、今後も引き続き事業を推進していく。

事務事業名	市民の森・施設整備				課名	公園緑地課		
指標	施設等の整備の検討				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	9,268	870
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	9,217	870

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

自然環境を維持管理することにより、保全・活用へと繋がるため。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①自然環境保全に役立っている。 ②環境保全は、市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④事業の実施は、施策推進に有効である。 ⑤市民参加の事業である。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標達成に効果的な手段であり、各事業の施策推進に有効である。 ⑤協働で推進している。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼や古利根沼の自然環境など、本市の貴重な自然の保全と活用、市民が自然と親しめる場の整備は、節の目的や施策の目標を達成するための有効な手段となっている。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤ボランティア等と協働で実施した。 ⑥⑦財源配分、人員配置ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	市民や団体の活動への支援	施策コード	11302	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	自然の一体的保全・活用			関係課	公園緑地課
	(3) 節の目的	生物の生息環境としても重要な水辺・農地・斜面林・谷津を、貴重な財産として一体的に保全・活用します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民の自主的な環境保全活動が広がるよう、活動機会の創出と情報提供など支援内容の充実を図るとともに、さまざまな団体が相互に連携・協力できるよう支援していきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民や団体			
どういう状態に		自主的な環境保全活動が広がっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・自然環境を保全・活用していくためには、市民自らが市の環境に興味を持ち、進んで環境の保全や再生活動に参加していくことが必要です。また、縦割りで行われている市民活動間の連携なども必要です。このため、環境イベント、環境学習の開催など市民の環境保全活動への参加のきっかけづくりや市民活動に関する情報提供とともに、活動そのものに直接支援する仕組みを工夫します。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市民による環境保全活動の年間延べ人数	市民の自主的な活動の指標となるため（手賀沼清掃参加者、環境レンジャー活動参加人数、みどりのボランティア、古利根沼水辺清掃参加者の合計）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	1,200	1,200	1,200	1,200
		実績値		1,616			
		達成率		134.67			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	195	195	195	0
		人件費	4,524	4,176	4,176	0
		合計	4,719	4,371	4,371	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	111			
		人件費	4,524			
合計		4,635				

施策を構成する事務事業

事務事業名					環境レンジャー活動への支援		課名	手賀沼課				
指標					市民参加の環境啓発活動の参加人数		政策・経常	□政策 ■経常 □なし				
現況値		1,344	目標値	1,200		単位	人	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値		1,190	達成率	99.17				予算額	50	870		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状		実績値	46	870
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)												
現状どおり推進												
事務事業名					みどりのボランティアの充実		課名	公園緑地課				
指標					参加延べ人数		政策・経常	□政策 ■経常 □なし				
現況値		340	目標値	420		単位	人	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値		182	達成率	43.33				予算額	145	3,654		
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	現状		実績値	65	3,654
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)												
公園や市民の森、緑地等、市民のボランティア活動への参加意識は高く、維持管理へと繋がっている												

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>身近な自然環境を保全・再生していくためには、市民自らが日常の中で周辺環境に関心を持ち、保全・再生への活動に取り組むことが大切である。そのため、市民の自主的な活動を進めるための支援を行う必要がある。</p>	<p>市民の自主的な活動を進めていく上で、欠かすことのできない施策である。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>環境レンジャーや谷津ミュージアムの会、緑のボランティア以外にも、市民の自主的な活動の場である美しい手賀沼を愛する市民の連合会などの活動を支援してきた。環境保全活動を担っていく市民活動への支援は重要な施策である。</p>	<p>外来種の駆除活動など、市民団体の活動は市の環境保全事業に大きく貢献している。 今後も、市民や団体の活動を支援していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	外来生物の影響抑制による在来種の多様性保全	施策コード	11303	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	自然の一体的保全・活用			関係課		
	(3) 節の目的	生物の生息環境としても重要な水辺・農地・斜面林・谷津を、貴重な財産として一体的に保全・活用します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	生態系への影響や農業などへの被害を防止するため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行うとともに、生態系へ及ぼす悪影響について広く啓発し、生態系のかく乱につながるような在来種の乱獲と新たな外来生物の移入を防止します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	外来生物				
どういう状態に		移入が防止されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物は、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かします。また、見た目にはきれいなものもあり、市民への注意喚起が必要です。このため、特に自然環境に影響の大きい「特定外来生物」の生息実態を把握し、防除を進めます。また、市民への情報提供を積極的に行います。 ・近年繁殖が進んでいる、ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイは、手賀沼の生態系に大きな影響を及ぼしており、広域的な連携による早急な対策が必要です。 						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市内で生育・生息している特定外来種の確認数	外来生物の市内での状況を客観的に把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	種	18	18	18	18
		実績値		18			
		達成率		100.00			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	4	4	4	0
	人件費	2,610	2,001	2,001	0
	合計	2,614	2,005	2,005	0
(10) 実績値 (千円)	事業費	4			
	人件費	2,610			
	合計	2,614			

施策を構成する事務事業

事務事業名	外来生物防除事業				課名	手賀沼課		
指標	市内におけるアライグマ・オオフサモ等の防除箇所				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	3	目標値	3	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	12	達成率	400.00			予算額	4	2,610
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4	2,610
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）								
特定外来生物による生態系被害は大きな問題であり、今後も継続して防除等の措置を講じていく必要がある。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>特定外来種の繁殖は、生態系に深刻な影響を及ぼすことから早急な対応が必要である。特に、手賀沼湖畔で繁殖しているナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの水生植物の状況は、深刻な問題となっている。</p>	<p>市域全体の生物多様性の創出という観点からも重要な施策であり、関係機関との連携により着実に進める必要がある。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>外来生物の実態把握と防除に取り組み、移入を防ぐ必要がある。特に、近年、手賀沼で増え続け繁殖力の強いナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイの駆除に取り組む市民団体の活動を、積極的に支援する必要がある。</p>	<p>生物多様性を確保し、自然生態系を保全していく上で重要な施策である。</p>
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
<p>北千葉導水事業などの影響もあり、手賀沼流域は外来種が侵入しやすい傾向がある。一度侵入した外来種を完全に駆除することは難しいため、侵入を確認した時点での早期の対応が必要である。また、人為的な移入を防ぐための啓発活動が必要になる。</p>	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	市街地における緑化の推進	施策コード	11401	施策主管部課	都市部公園緑地課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	くらしの中の自然の育成			関係課	
	(3) 節の目的	身近な自然を大切に守り・育て、くらしの中で季節が感じられる環境をつくります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	緑豊かな都市空間を創出するため、市民、事業者の主体的な活動に対する支援や、公共施設など公共空間での緑化に積極的に取り組みます。また、地区計画や緑地協定などの制度を活用して、地域ぐるみで一体的な緑化を進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市街地			
どういう状態に		地域ぐるみで緑化が進められている				
(6) 施策実施上の課題と対応	事業の拡大					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 緑地協定締結累計件数	地域の緑化活動を推進する					
	② 緑の講習会受講者数	地域の緑化活動を活性化させるため、緑化の知識を持つ市民を増やす					
	③ 公共公益空間での市民による緑化の取り組み件数	公園や駅前ロータリー、街路樹ますの花壇づくりなどを推進する					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	件	8	8	8	8
		実績値		6			
		達成率		75.00			
	②	目標値	人	230	240	250	260
		実績値		139			
達成率		60.43					
③	目標値	件	50	51	52	53	
	実績値		34				
	達成率		68.00				

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,480	2,480	2,480	0
		人件費	5,220	5,220	5,220	0
		合計	7,700	7,700	7,700	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,221			
		人件費	5,220			
合計		7,441				

施策を構成する事務事業

事務事業名	緑化推進				課名	公園緑地課	
指標	花壇用苗木等の提供により緑化を図っている公共公益施設数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	48	目標値	50	単位	ヶ所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	34	達成率	68.00			予算額	2,480
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,221

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民と協働し緑豊かなまちを作り上げ、継続していくことにより緑に対する意識が高まるため優先度は高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①緑の保全手法として有効である。 ②市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④有効な事業である。 ⑤市民との協働により緑化している。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標達成に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤協働で実施している。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
緑の講習会や緑化協議などにより、宅地内や事業所の緑地保全や緑化を推進するための効果的な手段となっている。公共施設の緑化は市街地内の緑化を進めるために先導的な役割を果たし、市民の緑化の啓発に有効な手段となっている。	①～④市民、事業者の主体的な緑化活動に対する支援と公共施設の緑化による先導的な役割を担うこの施策は部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤ボランティア等と協働で実施した。 ⑥⑦財源配分、人員配置ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	省エネルギーの推進と自然エネルギーの有効利用	施策コード	12101	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	環境負荷低減への取り組み			関係課	
	(3) 節の目的	地球環境への負荷を少なくするよう、地球温暖化対策に取り組むとともに、資源を大切に、資源の循環をすすめるくらしの実現に取り組みます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地球温暖化の原因となる温室効果ガス量を削減するため、「市民・事業者への環境配慮指針」の普及や学校での環境教育などを通して、市民や事業者への意識啓発を図り、電気や燃料使用量の節減などの省エネルギーの取り組みを推進します。また、住宅用太陽光発電システムへの助成などによって、一般家庭での自然エネルギーの利用を促進するとともに、公共施設での太陽光発電システムや省エネルギー型照明などの導入を進めます。さらに、平成28年度にスタートさせる「あびこエコ・プロジェクト4」を着実に実施していくとともに、今後は、自然エネルギーの活用を一層進める方策を検討していきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	温室効果ガス			
		どういう状態に	排出量が削減されている。			
(6) 施策実施上の課題と対応	・地球環境に配慮した生活や事業活動を普及するためには、市民や事業者がこの問題に対する理解を深め、自主的な取り組みを広げていくことが必要です。このため、様々な情報提供や啓発事業などを積極的に実施していきます。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市の事業を通して排出されるCO2の量	市の取り組みが直接反映される指標であるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	tco2	25,720	0	0	0
		実績値		27,184			
		達成率		94.61			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	13,434	14,170	14,070	0
	人件費	13,137	5,481	5,481	0
	合計	26,571	19,651	19,551	0
(10) 実績値 (千円)	事業費	11,320			
	人件費	13,137			
	合計	24,457			

施策を構成する事務事業

事務事業名	あびこエコ・プロジェクトの推進				課名	手賀沼課		
指標	二酸化炭素の総排出量				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	27,184	目標値	25,720	単位	t-CO2	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	27,184	達成率	94.61			予算額	1,584	7,917
事務事業の施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い			評価	現状	実績値	1,575	7,917

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり事業を進めていく。

事務事業名	住宅用省エネルギー設備導入促進事業				課名	手賀沼課		
指標	省エネルギー設備等補助件数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	114	目標値	93	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	114	達成率	122.58			予算額	11,850	5,220
事務事業の施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い			評価	現状	実績値	9,745	5,220

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり事業を推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
二酸化炭素の排出量削減など温暖化防止は、地球環境問題での喫緊の課題である。市民や事業者が自主的に地球温暖化対策に取り組むことを進めるための啓発活動を積極的に進める必要がある。	地球温暖化対策は、市民や事業者の自主的な活動が大きな効果を生むことから、積極的に施策を進める必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
地球温暖化防止を図るための中心的な施策である。また、省エネルギーによる経費の削減効果も見込めることから、事業の充実を図っていく。 自然エネルギーの普及拡大については、市民の中からも普及・拡大の取組みが見られることから、必要な支援を行っていく。	重要な施策であり、住宅用太陽光発電や省エネルギー設備への補助事業などに継続して取り組む必要がある。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
職員の省エネ努力には限界があり、施設の省エネ化を進める必要がある。また、市の温室効果ガス排出量の7割を占めるクリーンセンターとの連携した取り組みを進める必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	ごみの発生抑制を軸とした3Rの推進	施策コード	12102	施策主管部課	環境経済部 クリーンセンター
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	環境負荷低減への取り組み			関係課	農政課
	(3) 節の目的	地球環境への負荷を少なくするよう、地球温暖化対策に取り組むとともに、資源を大切に、資源の循環をすすめるくらしの実現に取り組みます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	資源を大切に、資源の循環を進めるくらしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効率的かつ効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸とした3Rを推進します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	ごみ			
どういう状態に		発生が抑制されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	市民、事業者へのごみの発生抑制の呼びかけや分別指導の徹底などに取り組むとともに、新たな資源化方法を検討し、資源循環型社会の構築を目指す。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 1人1日当たりの総ごみ (可燃・不燃・資源) 排出	1人1日当たりのごみ排出量を指標とすることで、一般家庭及び事業所から排出されるごみの抑制による減量効果を把握することができる。					
	② 資源化率	資源化率を指標とすることで、搬入物に対しリサイクルされたごみの量により焼却の減量効果を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	g	840	840	840	830
		実績値		844			
		達成率		99.53			
	②	目標値	%	24	25	25	30
		実績値		24			
		達成率		100.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,339,278	1,303,151	1,316,230	0
		人件費	56,289	53,244	22,794	0
		合計	1,395,567	1,356,395	1,339,024	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,286,318			
		人件費	56,289			
合計		1,342,607				

施策を構成する事務事業

事務事業名	生ごみリサイクル補助事業				課名	クリーンセンター		
指標	生ごみ処理器の補助基数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	22	目標値	60	単位	基	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	45	達成率	75.00			予算額	1,569	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ○普通 ●低い			評価	現状	実績値	957	2,610

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ごみ減量への寄与度は低いものの有効な事業であるため継続していく。

事務事業名	資源回収・処理・売り払い業務				課名	クリーンセンター		
指標	売り払い収入額				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	17,861	目標値	56,000	単位	千円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	17,861	達成率	31.89			予算額	435,838	3,915
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	434,354	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

3Rの推進のため重要な事業。

事務事業名	ごみ集積所の設置事業				課名	クリーンセンター		
指標	検査合格率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	6,090
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	6,090

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も事業を継続していく必要があるが、独自の予算を持たないため、令和4年度から【可燃ごみ・粗大ごみ収集事業】を【（仮称）ごみの収集と集積所に係る事業】に名称変更した上で、統合することとしたい。

事務事業名	排出指導対策事業				課名	クリーンセンター		
指標	指導件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	11	目標値	9	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	9	達成率	100.00			予算額	9,496	4,785
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,262	4,785

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

適正な分別の啓発は引き続き進めていく必要があるが、令和4年度から【ごみ減量・資源化の啓発事業】へ統合したい。

事務事業名	焼却灰処理事業(放射能対策)				課名	クリーンセンター		
指標	灰の処分量				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	3,727	目標値	4,200	単位	t	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4,135	達成率	101.57			予算額	184,244	870
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	169,623	870

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ごみの焼却灰処分は、市民生活に直接かかわる必要不可欠な事業であり、市の主導でごみの排出抑制を行うことで焼却灰の減量が出る。また、焼却灰の資源化事業者への排出を増量することで環境負荷の低減が図れる。

事務事業名	ごみ減量・資源化の啓発事業				課名	クリーンセンター		
指標	最終処分量				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	3,377	目標値	3,200	単位	t	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,377	達成率	94.76			予算額	324	3,480
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	35	3,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

啓発に必要なツールを研究していく必要がある。

事務事業名	ごみ減量・リサイクル推進事業所認定制度事業				課名	クリーンセンター		
指標	認定事業所数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	115	目標値	120	単位	店舗	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	118	達成率	98.33			予算額	0	5,220
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	5,220

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き、市のホームページに随時更新するとともに、年1~2回広報あびこに掲載して事業者の取り組みを市民へPRしたい。また、事業所への訪問回数を追求する必要はないため、令和4年度から【ごみ減量・資源化の啓発事業】へ統合したい。

事務事業名	廃棄物最終処理事業				課名	クリーンセンター		
指標	適正な埋立処分率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	45,517	6,525
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	36,909	6,525

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

最終処分場を所有しない我孫子市として、不燃物の埋立て処分を行う事業者の確保は非常に重要である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	施設の運転維持管理事業				課名	クリーンセンター		
指標	円滑な施設運転稼働率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	488,416	14,790
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	463,381	14,790

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ごみ処理施設及びし尿処理施設は、老朽化が著しく施設の延命化を図るため、修繕を適切に行うことが重要である。

事務事業名	可燃・粗大ごみ収集事業				課名	クリーンセンター		
指標	収集実行率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	173,704	6,525
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	173,695	6,525

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

委託先との連携により引き続きごみの収集を円滑に行う必要がある。

令和4年度から、本事業の名称を【（仮称）ごみの収集と集積所に係る事業】に変更し、【ごみ集積所の設置事業】を統合したい。

事務事業名	特殊用途車両更新事業				課名	クリーンセンター		
指標	円滑な車両稼働率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	実績値	0	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も引き続き所有している特殊車両の状況を把握し、車両更新計画を推進していく。

事務事業名	農業用廃プラスチック適正処理への補助				課名	農政課		
指標	廃プラスチック回収処理量				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3	目標値	5	単位	t	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1.51	達成率	30.20			予算額	170	1,479
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	102	1,479

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

環境保全と施設園芸の健全な発展に寄与していくものであり、今後も事業を継続していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
さらなる循環型社会の形成を推進するため、市民、事業者と行政が協働でごみの削減に取り組むとともに、地域社会の公衆衛生、資源の有効活用、地球温暖化防止対策の推進に寄与する。	ごみの排出抑制、資源化、収集運搬、中間処理から最終処分の施策の課題を検証し、一般廃棄物対策基本計画に基づき、それぞれの施策を展開していく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、依然として選定枝木のチップ化事業や焼却灰の資源化など、一部の事業に影響が生じているものの、ごみの適正な処理や資源化事業など、当初の目標どおりに事業を推進できた。	一般廃棄物対策基本計画の施策展開により、ごみの減量化及び再資源化事業については、おおむね良好に進んでいる。しかし、依然として放射性物質を含んだ選定枝木及び雑草の処分には苦慮している。よって、放射性物質が低減するまでは、選定枝木の資源化ではなく、埋め立て処分及び焼却で対応せざるを得ないと考ええる。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
選定枝木の資源化ができないことにより大幅に減少した資源化率の向上を目指すため、新たな資源化品目の研究を進めるとともに、新廃棄物処理施設の整備に合わせてごみと資源の分別について検討していく。	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	新たな廃棄物処理施設の整備	施策コード	12103	施策主管部課	環境経済部 クリーンセンター
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	環境負荷低減への取り組み			関係課	
	(3) 節の目的	地球環境への負荷を少なくするよう、地球温暖化対策に取り組むとともに、資源を大切に、資源の循環をすすめるくらしの実現に取り組みます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	新たな廃棄物処理施設（焼却施設と破砕処理施設）を、循環型社会形成推進基本法に基づき、災害対応拠点機能を高めることを視野に入れ、環境負荷の少ない、効率的で効果的な施設として整備します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	環境負荷の少ない新たな廃棄物処理施設			
どういう状態に		整備が完了している				
(6) 施策実施上の課題と対応	新たな廃棄物処理施設の整備（令和4年度末の稼働を目指す）にあたり、多額の費用が必要となることから、より安定的かつ経済的な事業体制を構築していく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 新廃棄物処理施設の整備における行程表の進捗率	新廃棄物処理施設を目標年次までに整備するためには、スケジュールどおりの進捗を目指すことが必要である。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	30	80	100	0
		実績値		25			
		達成率		83.33			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	841,508	6,390,506	5,467,509	0
		人件費	28,710	26,100	26,100	0
		合計	870,218	6,416,606	5,493,609	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	375,052			
		人件費	28,710			
合計		403,762				

施策を構成する事務事業

事務事業名	新クリーンセンターの整備事業				課名	クリーンセンター		
指標	進捗率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	20	目標値	30	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	25	達成率	83.33			予算額	841,508	28,710
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	375,052	28,710

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現クリーンセンターは稼働から45年以上が経過し、老朽化による故障リスクや維持管理費用が増大していることから、新廃棄物処理施設の建設が急務であるため。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
さらなる循環型社会の形成を推進するため、市民、事業者と行政が協働でごみの削減に取り組むとともに、地域社会の公衆衛生、資源の有効利用、地球温暖化防止対策の推進に寄与する。	ごみの排出抑制、資源化、収集運搬、中間処理から最終処分の施策の課題を検証し、一般廃棄物対策基本計画に基づいてそれぞれの施策を展開していく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
平成30年1月に策定した「新廃棄物処理施設整備詳細計画」に基づき、新廃棄物処理施設の整備及び令和5年4月からの稼働に向け、令和3年3月から建設工事に着手することができた。	令和5年4月からの新廃棄物処理施設の稼働を目指し、「新廃棄物処理施設整備詳細計画」に基づき、スケジュールどおり事業を進め、新廃棄物処理施設の建設工事に着手することができた。
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	
循環型社会形成推進基本法に基づき、災害対応拠点機能を高めることを視野に入れ、環境負荷の少ない効率的で効果的な整備に取り組むとともに、施設整備中は既存施設の適正な維持管理や修繕により施設の延命化を図る必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	健全な水循環の維持または回復への取り組みの推進	施策コード	12104	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	環境負荷低減への取り組み			関係課		
	(3) 節の目的	地球環境への負荷を少なくするよう、地球温暖化対策に取り組むとともに、資源を大切に、資源の循環をすすめるくらしの実現に取り組めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	健全な水循環を維持または回復するため、斜面林や農地、谷津の一体的な保全に努めるとともに、市街地での雨水の貯留・涵養機能の維持・向上を図ります。また、公共施設などにおいては、改修工事などに併せ、水資源の有効利用や水循環を高める雨水の地下浸透対策などを進めます。さらに、水環境に親しみ興味・関心を深めるため湧水施設の整備や学習活動を実施していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	健全な水環境				
		どういう状態に	確保されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・健全な水循環を確保するためには、斜面林や台地上の樹林地の保全に加え、雨水浸透施設などの設置が必要です。また、市民の取り組みを支援するための工夫も必要です。このため、自然環境の保全とともに、利用しやすい助成制度とするための工夫や公共施設の改修時などに水循環の回復に向けた取り組みを進めていきます。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 指定緑地・市民の森・保全緑地の面積	水循環回復のための取り組みをあらゆる直接的な指標のため（手賀沼沿い斜面林保全条例と緑地等の保全及び緑化の推進に関する条例による指定緑地面積・市が取得し管理している緑地）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	ha	50	50	50	50
		実績値		49.1			
		達成率		98.20			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	0	0	0	
		人件費	0	0	0	0	
		合 計	0	0	0	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0				
		人件費	0				
		合 計	0				

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
地下水の涵養など重要な課題もあるが、具体的な事業化についての検討が必要。	健全な水循環回復への取り組みの事業化についての検討が必要
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
地下水の涵養域を増加させることで、手賀沼などの水質改善に結びつける必要がある。	健全な水循環の維持・回復のために必要な施策であり、事業化を検討する必要がある。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
緑化の推進や治水事業として道路の浸透性や市街地での雨水の貯留など、個々に事業が取り組まれているが、水循環の取組みとして施策に対応する事業を再度見直す必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	公害や生活環境の悪化の防止	施策コード	12201	施策主管部課	環境経済部 手賀沼課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公害・生活環境悪化の防止			関係課	道路課
	(3) 節の目的	生活環境に悪影響を与える公害の防止に取り組みます。また、放射能汚染や有害化学物質などの新たな環境問題に取り組みます。				クリーンセンター
						健康づくり支援課
	(4) 施策の目的・展開方向	<p>良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体や関係機関と連携して実態を的確に把握し、市民への注意喚起、事業者等への情報提供を行うとともに、迅速な対策を講じます。</p>				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
何（誰）を対象に		市民や事業者				
どういう状態に		公害の発生を未然に防止し、良好な生活環境が維持されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	<p>・法に基づく公害や環境上不快な状況が発生することを防止する必要があります。このため、良好な生活環境を守るための基本的な調査や監視、指導を行っていきます。</p>					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 大気中の二酸化窒素濃度の環境基準達成率	直接環境の基準を示すものであるため(40ppb以下の地点の割合)					
	② 一般地域の騒音環境基準達成率	直接環境の基準を示すものであるため					
	③ 不法投棄量	生活環境悪化の防止の指標であるから					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
		達成率		100.00			
	②	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
達成率		100.00					
③	目標値	トン	5	5	5	5	
	実績値		6				
	達成率		83.33				

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	299,379	248,328	248,477	0
	人件費	49,677	49,068	34,713	0
	合計	349,056	297,396	283,190	0
(10) 実績値 (千円)	事業費	294,831			
	人件費	49,677			
	合計	344,508			

施策を構成する事務事業

事務事業名	光化学スモッグ等監視・連絡業務				課名	手賀沼課			
指標	光化学スモッグ注意報等発令時の周知箇所への連絡完了割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	99		
予算額								99	957
実績値								58	957

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

千葉県光化学スモッグの監視体制により光化学スモッグ注意報等が発令された場合には、健康被害を未然に防止するために速やかに市民へ周知する必要がある緊急性の高い事業である。

事務事業名	大気汚染防止冬期対策				課名	手賀沼課			
指標	二酸化窒素の千葉県環境目標値達成率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	746		
予算額								746	609
実績値								649	609

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

冬季は大気汚染物質がよどみやすい気象条件が多くなり大気汚染物質の環境濃度が高くなる時期である。大気汚染の原因となる窒素酸化物等による大気環境への影響等を調査、主な原因となる自動車排出ガスの排出抑制を呼びかけていくことは、市民の良好な生活

事務事業名	トリクロロエチレン等地下水調査				課名	手賀沼課			
指標	基準適合率(基準適合井戸本数÷調査実施井戸本数×100)%				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	85	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	62	達成率	72.94						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,306		
予算額								1,306	1,044
実績値								1,304	1,044

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

トリクロロエチレン(有機溶剤)・六価クロム等の汚染物質による地下水汚染が確認されている地域は、汚染状況の把握、拡大防止、浄化対策の実施が必要であり、水質基準を超過している地域については、井戸所有者に適切な地下水利用の周知を図ることにより

事務事業名	地下水汚染浄化対策事業				課名	手賀沼課			
指標	トリクロロエチレン、六価クロムの揚水井からの年間回収量				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	9,208	目標値	9,000	単位	mg	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	3,956	達成率	43.96						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,755		
予算額								2,755	1,044
実績値								2,535	1,044

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

汚染物質の除去事業を実施しないと地下水汚染範囲が拡大し環境影響が増加するとともに、飲用による健康被害の発生など市民生活に支障が生ずるおそれがある。そのため、汚染範囲の確定、汚染の機構解明、浄化対策、周辺井戸の水質調査などが必要である。

事務事業名	地下水環境調査				課名	手賀沼課			
指標	環境基準適合率(基準適合件数÷調査実施件数×100)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	70	目標値	75	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	80	達成率	106.67						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	655		
予算額								655	696
実績値								484	696

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

汚染物質は移動・拡散することがあり、汚染の早期発見及び必要な対策の実施により健康被害の発生を未然に防止するためには、継続的なメッシュ調査により市内の地下水環境を把握する必要がある。

事務事業名	埋立て条例に基づく規制業務				課名	手賀沼課			
指標	適正執行率(許可件数/小規模埋立事業件数×100)%				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	165		
予算額								165	1,653
実績値								149	1,653

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市埋立て条例の適正な執行により、外部からの搬入土砂による土壌汚染の未然防止及び土砂の崩落等による災害発生の防止を図る。

事務事業名	県環境保全条例に基づく揚水規制業務				課名	手賀沼課			
指標	報告義務のある井戸の揚水量報告書の回収率(回収件数÷対象事業場)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	99	目標値	95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	105.26						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	7		
予算額								7	522
実績値								7	522

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

千葉県環境保全条例に基づき県から依頼を受け、市内の届出義務者の報告要旨を送信し報告書を回収し、県に進達するものであるため、市が主導となって事務事業を進める必要がある。

事務事業名	環境騒音調査				課名	手賀沼課			
指標	調査地点数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	5	目標値	5	単位	地点/年	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	5	達成率	100.00						
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	434		
予算額								434	435
実績値								418	435

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

地域の特性に即した適切な騒音対策を実施するためには、市内各所で普段の支配的音源やその大きさを調査し、実態を把握する必要がある。

施策を構成する事務事業

事務事業名	羽田再拡張事業に関する業務				課名	手賀沼課		
指標	連絡協議会会議への出席／会議の回数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	870
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	870

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

自治体の協議会が国交大臣と協議を行うものであるから市でなければ当該協議会に参加することは出来ないため必要である。

事務事業名	道路交通騒音・振動調査				課名	手賀沼課		
指標	要請限度達成率（5路線7箇所すべてが要請限度を達成して100%）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	85	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	85	達成率	100.00			予算額	1,120	1,914
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	497	1,914

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

幹線道路の交通騒音・振動等の調査を行い、適正に監視を行うために必要不可欠な事業である。

事務事業名	騒音・振動・悪臭 法令・市条例に基づく規制業務				課名	手賀沼課		
指標	適正執行件数（届出件数－苦情件数）／届出件数×100（%）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	99	目標値	99	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	99	達成率	100.00			予算額	187	1,131
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	88	1,131

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

日々の業務自体が環境保全（公害対策）のための法律・条令に基づく規制・指導業務であり、行政行為そのものである。

事務事業名	公害苦情相談				課名	手賀沼課		
指標	解決（申立て人の納得または原因者の対策の実施）件数／公害苦情処				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	95	目標値	95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	105.26			予算額	346	2,001
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	234	2,001

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民からの要望が多く、良好な生活環境を保全するため必要不可欠である。

事務事業名	開発行為等事前指導				課名	手賀沼課		
指標	事前指導による苦情発生防止率（指導件数-苦情件数）／指導件数x100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	98	目標値	99	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	98	達成率	98.99			予算額	0	609
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	609

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

開発行為等の事前指導等を的確に実施することにより、市民の生活環境を保全する必要不可欠な事業である。

事務事業名	蜂・害虫などの相談業務				課名	手賀沼課		
指標	苦情相談の解決率（解決件数/相談件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	90	目標値	95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	90	達成率	94.74			予算額	0	4,350
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,350

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民からの生き物に対する苦情等の対応は必要不可欠である。

事務事業名	福島第一原発事故に伴う放射能汚染問題への対応				課名	手賀沼課		
指標	小・中学校、保育園、公園における放射線量の基準値（0.23マイ				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	570	6,960
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	336	6,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

放射能に対する不安から、市民の関心や要望もあり事業の優先度も高いが、原発事故から10年を経過し一定の成果をあげてきていることから、縮小を検討する時期にある。

事務事業名	剪定枝木等のチップ化事業（放射能対策）				課名	クリーンセンター		
指標	刈草等及び剪定枝木のチップ化処理・一時保管量				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	1,000	目標値	500	単位	t	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1,380	達成率	276.00			予算額	285,841	3,480
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	284,060	3,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

焼却灰に含まれる放射能低減対策として必要な事業であり、当面は現状どおり推進していく。

施策を構成する事務事業

事務事業名	不法投棄防止対策事業				課名	クリーンセンター		
指標	不法投棄回収量				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	6.09	目標値	5	単位	t	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	6	達成率	83.33			予算額	1,937	5,220
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,303	5,220

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

不法投棄の抑制は継続して取り組むべき課題である。

事務事業名	路上喫煙防止対策事業				課名	クリーンセンター		
指標	定点調査結果(たばこの吸い殻の数)令和2年度及び令和3年度は実施				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	415	目標値	374	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	235	4,350
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,350

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

駅頭における指導を取り止めたことについて、反響はあまりないが、健康増進法の施行に伴う煙害に関する苦情が多く寄せられており、今後、事業手法の見直しが必要になると思われる。令和4年度から【不法投棄防止対策事業】へ統合したい。

事務事業名	震災廃棄物の放射線測定事業				課名	クリーンセンター		
指標	焼却灰が1,000ベクレル/kgを下回る割合				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,122	870
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,030	870

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

放射能の数値が著しく減少するまでは、快適で安全な市民生活を確保するために焼却灰等の放射線測定を実施していくことが必要。

事務事業名	農業にかかる放射線対策事業				課名	農政課		
指標	我孫子市産農産物の放射性物質検査数				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	86	目標値	90	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	74	達成率	121.62			予算額	1,464	3,045
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,315	3,045

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、食の安全性の確保や風評被害の払拭のため今後も現状通り推進していく。

事務事業名	ホールボディカウンタ測定及び甲状腺検査費用助成事業				課名	健康づくり支援課		
指標	健康への影響に対する不安の軽減ができた者の割合				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	125.00			予算額	16	1,392
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	10	1,392

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

現状通り推進

事務事業名	道路の放射線対策				課名	道路課		
指標	放射線量の基準値以下道路の延長				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	526	目標値	526	単位	km	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	526	達成率	100.00			予算額	0	261
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	261

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

除染後も再び放射線量が高くなる可能性があるため引き続き監視し、必要に応じて、除染する必要がある。

事務事業名	公園の放射線対策				課名	公園緑地課		
指標	空間放射線量の測定				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	193	目標値	193	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	193	達成率	100.00			予算額	338	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	331	2,610

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

東日本大震災から10年経過したこともあり、今後事業は休止とする。

事務事業名	小中学校施設の放射線対策				課名	総務課		
指標	除染工事完了校数				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	0	目標値	0	単位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	0	870
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	870

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

児童生徒の安全で安心な学習環境を維持するため必要不可欠な事業であるため、今後も現状通り推進していく。

施策を構成する事務事業

事務事業名	保育園・幼稚園の放射能対策				課名	保育課	
指標	基準値を超える園の放射線低減化対策実施率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	36
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	縮小	実績値	23
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
子どもたちの安全を確保するためには優先度は高い。							

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
公害の発生を未然に防止するため、定期的なパトロール・監視などを継続して実施する必要がある。	市民の生活環境を守る観点から、基本的かつ重要な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
公害の未然防止、対策の早期実施は市民の生活環境の保全、健康被害の防止を進めるうえで欠かせない施策である。また、市民の不安を解消するため、引き続き放射能対策に取り組む必要がある。	公害の防止、不法投棄は環境保全施策の中で前提となる重要な施策である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向